

## 1 評価専門調査会の目的

- 第6期科学技術・イノベーション基本計画（以下「第6期基本計画」）では、「指標を用いながら進捗状況の把握、評価を、評価専門調査会において継続的に実施」とされている。
- 具体的には、第6期基本計画について、
  - ・ ロジックチャートを用いた指標の変化要因等の分析を試行し、手法を確立すること
  - ・ また、結果を取りまとめ、統合イノベーション戦略や次期基本計画の策定に活用されることを中心に、「競争的な研究開発環境の実現と効果的・効率的な資源配分を行うため、評価のためのルール作り、重要研究開発の評価等評価に関する調査・検討を行う」ことを目的とする。

○ **専門委員及び専門調査会の設置について** 総合科学技術会議決定 (H13.1.18) 抜粋  
 (2) 評価専門調査会  
 競争的な研究開発環境の実現と効果的・効率的な資源配分を行うため、評価のためのルールづくり、重要研究開発の評価等評価に関する調査・検討を行う。

○ **第6期科学技術・イノベーション基本計画**  
 「第3章(3)第6期基本計画に連動した政策評価の実施と統合戦略の策定」抜粋  
 第6期基本計画について、**指標を用いながら進捗状況の把握、評価を評価専門調査会において継続的に実施し、その結果を年次戦略や次期基本計画の策定に活用するとともに、必要に応じて第6期基本計画の見直しを行うなど、社会情勢等の変化** に対し柔軟な科学技術・イノベーション政策を推進していく。

内閣府設置法 第二十六条：  
**総合科学技術・イノベーション会議**は、次に掲げる事務をつかさどる。  
 一 内閣総理大臣の諮問に応じて科学技術の総合的かつ計画的な振興を図るための基本的な政策について調査審議すること。  
 二 内閣総理大臣又は関係各大臣の諮問に応じて科学技術に関する予算、人材その他の科学技術の振興に必要な資源の配分の方針その他科学技術の振興に関する重要事項について調査審議すること。  
 三 **科学技術に関する大規模な研究開発その他の国家的に重要な研究開発について評価を行う**

## 2. 令和4年度の開催実績

<基本計画>

令和4年  
10月31日 第1回(第143回) 評価専門調査会

令和5年  
1月16日 第2回(第144回) 評価専門調査会  
1月27日 大規模研究開発評価WG  
2月24日 第3回(第145回) 評価専門調査会  
3月1日 第4回(第146回) 評価専門調査会

<特定研究法人(NIMS)>

令和4年  
10月27日 木曜会合・評価専門調査会合同会議で  
NIMSの見込み評価等に対するCSTI意見(案)のとりまとめ

令和5年  
2月2日 NIMSの次期中長期目標に対する意見について、  
CSTI木曜会合・評価専門調査会合同会議で議論

<福島(F-REI)>

令和4年  
8月4日 福島復興再生特別措置法に基づく新産業創出等研究開発基本計画の策定について  
CSTI意見(案)のとりまとめ

令和5年  
2月2日 F-REIの中期目標に対する意見について、  
CSTI木曜会合・評価専門調査会合同会議で議論

## 3. 構成員

令和5年11月22日現在

(敬称略)

(CSTI議員)

- 会長 上山 隆大 総合科学技術・イノベーション会議 議員
- 梶原 ゆみ子 同
- 佐藤 康博 同
- 篠原 弘道 同
- 菅 裕明 同
- 波多野 睦子 同
- 藤井 輝夫 同
- 光石 衛 同

(専門委員)

- 江崎 浩 東京大学大学院 教授
- 大内 香 中外製薬株式会社 執行役員 医薬安全性本部長
- 大隅 典子 東北大学 副学長
- 川原 圭博 東京大学大学院 教授
- 角南 篤 公益財団法人笹川平和財団 理事長
- 染谷 隆夫 東京大学大学院 教授
- 田中 朗子 キヤノン株式会社 執行役員 R & D本部副本部長
- 長谷山 美紀 北海道大学 副学長
- 林 隆之 政策研究大学院大学 教授
- 渡邊 聡 アリゾナ州立大学 ユニバーシティ・デザイン・インスティテュート グローバル・エキスパート・イン・レジデンス

○:大規模研究開発評価ワーキンググループメンバー